

拠点校だより

江戸川区立清新第二中学校
校長 白石 亨
第 5 号
令和6年1月15日(月)



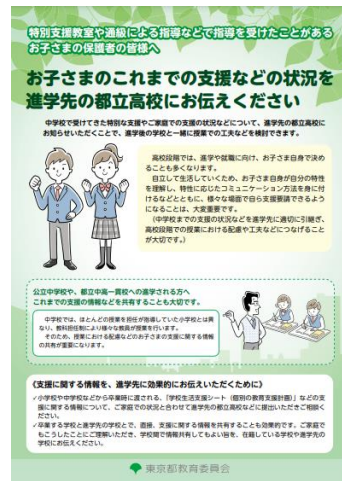
あけましておめでとうございます。昨年は巡回指導へのご理解ご協力ありがとうございました。また、進路を考える会や保護者研修会へのご出席、面談の日程調整などにもご協力くださり誠にありがとうございました。3学期も引き続き、お子様一人一人の目標や課題に応じた指導を行ってまいります。今年もよろしくお祈りします。

3学期は本年度のまとめ時期であり、来年度への準備期間でもあります。これからも保護者の皆様と協力をしながら、子どもたちの成長を促し、一步一步自立できるように指導してまいります。また、子どもたちには改めて自分自身の目標を言葉にしてほしいと思います。本人の気持ちを大切にしながら、スモールステップで一步一步進んでいく姿をサポートしてまいります。

都立高校の通級による指導

東京都教育委員会では、どの都立高等学校に進学しても、特別な指導が受けられる環境を整備しています。ついては、保護者の皆様から、中学校で受けていた支援や指導上の配慮などの情報等を、進学先の都立高校等に円滑かつ適切に引き継ぐことで、進学先でも適切な支援を受けられるようにつなげることが重要です。(HPから一部抜粋)

詳細は🔍「通級による指導 | 東京都教育委員会ホームページ」を検索してご覧ください。



おすすめ本紹介

昨年8月に保護者研修会を行いました。講師の杉本心理士がお勧めくださった本を紹介します。



- 左：『ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の人が上手に勉強するための本』 安田祐輔 翔泳社 2021
- 中央：『『大人のADHD』のための段取り力』 司馬理英子 講談社 2016
- 右：『図解 よくわかる思春期の発達障害』 中山和彦 小野和哉 ナツメ社 2016

今後の予定

1月15日(月)～19日(金)	3学期巡回指導 開始週
3月11日(月)～15日(金)	3学期巡回指導 終了週
3月19日(火)	卒業式
3月25日(月)	修了式
3月26日(火)	春季休業始め

年度末面談のお知らせ

3月中に保護者・担任・巡回指導教員の三者で年度末面談を行わせていただきます。日程など詳しいお知らせは1月下旬に配布予定です。保護者の皆様には日程調整をお願いすることになりますので、ご承知おきください。



裏面もご覧ください。保護者研修会アンケートへの杉本心理士のご回答を掲載しています。

～保護者研修会・講演会アンケートのご質問より～

昨年8月30日(水)に行った保護者研修会でお寄せいただいたアンケートのご質問に、講師の杉本心理士からご回答いただきました。拠点校だより4号と5号の裏面を通してお知らせいたします。

青字:ご質問 黒字:杉本心理士の回答

・こだわりからくる様々な事情により、日常生活に関してとても時間がかかってしまい「常に時間がない」と話していること。・・・「自分はなんて不利なんだろう」と不安感が強いように感じます。・・・

→お子さんの苦悩をよく受け止め対応してくださっていることに感謝申し上げます。こだわりは、本人にとって大事なことで無くせませんが、年齢を重ねることで色々経験をし、少しずつ弱まることもあります。またそのこだわりがあるからこそ、生活がうまくいくこともあります。お子さんにストレスや不安感が強くある様子ですが、お子さんが思う自分の不利な面について、お子さんと一緒に、教員やカウンセラーも交え、表出する機会を設けてはいかがでしょうか。不利と思い込んでいたことも、見方を変えると良い面や専門性につながることもよくあります。健康的な自己理解・自己受容につながると、不安感やストレスが減るように思います。

・通常級でのテストの内容が特性から苦手なことがあり、学校側に相談したがあまりうまくいかず、合理的配慮が受けられていないように感じます。今後どの様に交渉していくのが良いのか・・・。

→学校側にもご相談頂きありがとうございます。なかなかうまく配慮が受けられていないご様子で心が痛みます。お子さん本人の希望する配慮と保護者の方が希望する配慮が一致していますでしょうか？またそれについて学校側に伝わっているのでしょうか？ご希望の配慮が校内で実現可能かどうか、何回か重ねて話し合うことが必要になると思います。ご苦勞をお掛け致しますが、話し合った最後に、次回の日程を決め、継続してご相談頂けると有難いです。次回の日程が決まっていれば、その時まで、入れてみた配慮がどうだったのか、について話し合う機会があり検討できます。配慮を入れたからといって、すぐに効果・結果がでるとは限りませんが、本人も希望する配慮が受けられ、学校側も無理のない配慮ができていのであれば、継続してみる価値はありますし、何より、その中で頑張ったお子さんへの認める声掛けが大事であると思います。本人一保護者一学校が共通の目的をもつ配慮であれば、人によって配慮の提供の仕方が違っていても、長い目で見るとその子の特性を活かす支援になっているのではないかと考えます。

・子供の今後(進路)について大変不安を感じております。高校へ進学ができるのか、今後社会に出た場合にはどのような仕事に就けるか、どうやって自立して行けるのかと・・・発達障害をもっている子が大人になってどのような仕事に就いて自立していつているのかを事例を含めて説明してもらえると有難いです。

→お子さんの進路・将来についてご不安であり、具体的な事例を含め、見通しをもたれたいとのこと承知いたしました。

高校への進学に関しては、担任及び進路担当の教員等と相談し、第一は、お子さん本人の希望を優先し、候補を上げてください。ただ子どもは安易なイメージ等のみで判断していることも多いので、ぜひ一緒に見学や体験をして、自分に合っているかどうかと、発達障害についてどの様な支援を学校側が行っているのかを確認してください。お子さんの希望や状況にもよりますが、今は様々な学習スタイルの学校がありますので、進学希望の意欲があれば進学は可能です。焦らずじっくりご検討ください。

高校進学以降成人になってからのことですが、大学等進学または、得意な技術を身に付けるための専門学校等に行き、その技術を活かす仕事に就くことは、有益と考えます。ただそのためには、お子さん自身が自分の得手不得手についてある程度、理解・受容していることが必要です。自分一人では自分のことがなかなかわからないことも多いので、ご家族をはじめ、先生等関わる方からのお子さんについての声掛けが助けになると思います。また、自立に必要なライフスキルを身に付けることも大事です。ライフスキルは、日常生活の全般を自分で管理する力ですので、はじめから全部上手にいくことは難しいです。だからこそ今の中学生時代から、家庭でのお手伝い等を少しずつさせて、自分の力でやれるレパートリーを増やしてあげられるとよいと思います。そして、上手いかなかったときにどうしたらよいのか、ということと、金銭管理については、当たり前のことであっても何度も繰り返し適切なやり方を伝えてあげた方がよいと思います。就職に関しては、本人の特性が受け入れられ、活かされる職場でないと長続きしないことがあり、転職を繰り返すと、自信の低下につながってしまいます。客観的なアドバイス等をもらいながら、就職先を見つけるために、就労支援機関等への相談も利用してみるとよいかもしれません。

『図解 よくわかる思春期の発達障害』中山和彦 小野和哉 ナツメ社 2016
上記資料に進学・就職についての情報が詳しくあります。ご参照ください。